

熊本県農業再生協議会 平成30年度第2回通常総会次第

日時：平成30年12月17日（月）午後3時～

場所：JA熊本経済連6階会議室

- 1 開会

- 2 あいさつ

- 3 議長選出

- 4 議事録署名人選任

- 5 議事
 - (1) 議案
平成31年産米の需給調整の取組について

 - (2) 報告事項
平成30年度上半期内部監査報告について

- 6 閉会

熊本県農業再生協議会 平成30年度第2回通常総会 出席者名簿

H30.12.17

団 体 名	役 職 名	氏 名	備 考
熊本県農業協同組合中央会	会 長	宮本 隆幸	会長
熊本県農林水産部	生産経営局長	山下 浩次	副会長
熊本県経済農業協同組合連合会	代表理事会長	加末 誠一	副会長
一般社団法人熊本県農業会議	会 長	森 日出輝	監事
熊本県主食集荷協同組合	理事長	上村 徳孝	監事
熊本県市長会	会 長	中嶋 憲正	
熊本県町村会	事務局長	宮川 章二	代理出席
熊本県農業共済組合	第一事業部長	荒嶽 洋文	代理出席

【事務局関係者等】

所 属	役 職 名	氏 名	備 考
熊本県農林水産部 生産経営局農産園芸課	課 長	大島 深	
	審議員(兼課長補佐)	上村 法光	
	主幹(水田総合推進)	安武 智臣	
	参 事	林田 裕樹	
	参 事	村上 治久	
JA熊本経済連農産部	部 長	小島 裕二	
	次 長	馬場 元治	
	農産販売課課長補佐	松岡 大輔	
(一社)熊本県農業会議	事務局長	下舞 睦哉	
JA熊本中央会・連合会 担い手・法人サポートセンター	所 長	藤川 修朗	
	副所長	有田 英一	
	営農企画課長	本山 洋治	
	調査役	山本 裕之	
	参 与	原 勝則	
	参 与	山中 孝一	

平成 31 年産米の需給調整の取組について

米政策見直し初年目の平成 30 年産米において、各地域では自らが描く「水田フル活用ビジョン」の実現に向けて取組んだ。

その結果、転作作物の定着がみられ、主食用米は、行政による生産数量目標配分がなくても、県全体の需要見込量の範囲内での生産が行われた。

平成 31 年産米の需給調整においては、平成 28 年 12 月 15 日、熊本県農業再生協議会の決議事項に沿って、引き続き、下記の方針で実施することとする（平成 30～32 年産までの 3 年間で適用期間）。

1 本県需要見込量及び県全体の作付目安について

(1) 本県需要見込量

各地域での需要に応じた生産の参考になるよう、平成 29 年産まで国が用いた「都道府県別の生産数量目標」の算定方法に基づき算定する。なお、県産米の需要見通しを勘案し、加算調整は行わないものとする。

(2) 県全体の作付目安

県全体の作付目安は、円滑な需給調整に資するよう、地域農業再生協議会（五木村含む）が策定する「水田フル活用ビジョン」に示された主食用米の目標作付面積に基づき算定する。

2 地域協議会別の作付目安について

地域協議会別の作付目安は、地域協議会で策定する「水田フル活用ビジョン」に示された主食用米の目標作付面積の合計が、本県需要量の範囲内であったことから、各地域協議会が示した面積と同面積を提示する。

3 平成31年産の本県米の需要見込量並びに地域協議会別作付目安の算定、提示について

(1) 平成 31 年産の熊本県需要見込量の算定

平成 31 年産の熊本県需要見込量は以下のとおり

平成 31 年産熊本県の需要見込量

= 国全体の主食用米等生産量 × 本県シェア（H27 年産時）+ 所要の加算調整

= 726 万 t × (189,310t/7,510,000t) + 0 = 183,008t (H30 : 185,277t)

その面積換算値 = 35,674ha (H30 : 36,116ha)

※面積換算値は県の基準単収（513kg/10a）で割り戻して算出

(2) 平成31年産地域協議会別作付目安の算定及び提示について

①地域協議会別の作付目安の算出方法

平成31年産地域協議会別作付目安

= 地域毎の水田フル活用ビジョンに掲げる主食用米の目標作付面積

地域協議会別の作付目安は別紙一覧のとおり

②地域協議会への具体的な提示方法

〇〇町農業再生協議会

作付目安：〇〇〇ha①（数量換算値：〇〇〇t②）

注①：地域水田フル活用ビジョンのH31年の主食用米の目標作付面積

注②：国の統計情報部が公表する直近の7中5の単収で換算

（参考）県全体の状況

平成31年産 県全体の需要見込量 35,674ha（数量換算値：183,008t）

平成31年産 県全体の作付目安 33,816ha③（数量換算値：173,575t）

（県全体の深掘見込 1,858ha）

注③：地域水田フル活用ビジョンH31年主食用米の目標作付面積の合計値

4 作付目安の活用等について

(1) 地域協議会の作付目安の活用について

地域協議会の作付目安については、各地域で、作付目安を起点とした実際の作付実績等を分析し、地域自ら需要に応じた生産が行える観点で検証するなど、「水田フル活用ビジョン」の見直し等に活用するものとする。

(2) 農業者に対する作付目安の扱い

農業者に対しての作付目安の提示は、地域の実状に応じて地域協議会が決定することとする。

なお、必要に応じて、示された作付目安と前年の作付実績を全農業者に提示するなど、需要情報が伝わるよう留意するものとする。

平成31年産米の地域協議会別作付目安(案)

地域農業再生協議会等名	H31年産米 作付目安(ha)	数量換算値(t)
熊本地域農業再生協議会	2,700	15,066
城南・富合地域農業再生協議会	830	4,681
植木町地域農業再生協議会	625	3,262
宇土市農業再生協議会	640	3,481
宇城市農業再生協議会	1,663	8,448
美里町農業再生協議会	435	2,070
荒尾市地域農業再生協議会	395	1,967
玉名市地域農業再生協議会	2,510	13,277
玉東町地域農業再生協議会	150	750
和水地域農業再生協議会	547	2,718
南関町農業再生協議会	415	2,095
長洲町農業再生協議会	310	1,618
山鹿市農業再生協議会	2,185	11,405
菊池市農業再生協議会	1,750	9,222
合志市農業再生協議会	285	1,473
大津町農業再生協議会	100	549
菊陽町農業再生協議会	152	828
阿蘇市地域農業再生協議会	2,500	12,350
南小国町地域農業再生協議会	228	1,085
小国町地域農業再生協議会	287	1,348
産山地域農業再生協議会	160	745
高森町地域農業再生協議会	170	844
南阿蘇村地域農業再生協議会	1,211	6,357
西原村地域農業再生協議会	100	526
御船町地域農業再生協議会	530	2,819
嘉島町地域農業再生協議会	347	1,915
益城町農業再生協議会	800	4,288
甲佐町地域農業再生協議会	411	2,194
山都地域農業再生協議会	1,310	6,445
八代市農業再生協議会	3,600	18,396
氷川町農業再生協議会	559	3,040
水俣芦北地域農業再生協議会	700	3,325
人吉市農業再生協議会	540	2,732
錦町農業再生協議会	500	2,555
あさぎり町地域農業再生協議会	950	4,864
多良木町農業再生協議会	647	3,241
湯前町農業再生協議会	285	1,422
水上村農業再生協議会	143	687
相良村農業再生協議会	205	988
五木村	10	40
山江村農業再生協議会	134	637
球磨村農業再生協議会	100	452
天草市農業再生協議会	1,300	5,629
上天草市地域農業再生協議会	233	1,013
苓北町農業再生協議会	164	728
県計	33,816	173,575

※水俣・芦北地域農業再生協議会は、それぞれの市町単収の7中5平均を荷重平均して数量換算

平成 30 年度上半期内部監査報告書

熊本県農業再生協議会
会 長 宮 本 隆 幸 様

下記のとおり内部監査を実施しましたので、熊本県農業再生協議会内部監査実施規程第5条に基づき、その顛末を報告します。

平成 30 年 10 月 29 日
熊本県農業再生協議会
内 部 監 査 委 員

(責任者) 久米 正剛

高木 誠一

記

1 監査人氏名

(責任者) J A熊本中央会 経営組織部 天草地区担当課長 久米 正剛
J A熊本中央会 経営組織部 調査役 高木 誠一

2 監査実施期間ならびに監査の範囲

年度	期間	監査基準日	監査の範囲
平成 30 年度	平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 9 月 30 日	平成 30 年 9 月 30 日	熊本県農業再生協議会の業務及び資金管理

3 改善を要する事項等

熊本県農業再生協議会の業務及び会計について監査を実施したところ、適正に処理されていました。

以上